

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山都町役場			代表者名	坂本 靖也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	健康ほけん課	連絡先電話番号	0967-72-1295
担当者役職	健康づくり係長	担当者氏名	飯法師 直美	連絡先E-mail	
住所	861-3592 熊本県山都町浜町6番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	山都町医療MaaS事業
概要	山都町において、医療機器を装備し看護師の搭乗した車両を用いて、患者の集まっている公民館等を巡回しオンライン診療を行う医療MaaS事業を令和6年度開始し令和7年1月の試験運行に向けて準備しているところだが、医師に「医療の質を落としたい」という思いや「看護師不足」「無医地区や準無医地区以外の地域は医療MaaS車両では診療の場所として認められ		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 医療・介護・健康		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	218K	令和6年11月1日	事前打合せ&支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月15日	事前打合せ(オンライン)	15時00分	16時00分	
				活動時間(分)	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">他の自治体の医療MaaS事業の取り組みを熟知されていること行政職員でありながら、医療行政や地域医療、DXにも精通され看護学会等にも関与があること事業委託事業者等にも気軽に話し合いができる関係性であること
アドバイザーへの要望事項	医療MaaS事業の実施医療機関への直接的な助言やアドバイスをお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	2	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和7年1月からの試験運転、2月からの実装運転に向けて医療MaaS事業の準備を段階的に進めているが、行政主導でこの事業を導入開始したため、主役である医療機関側の準備が思うように進んでいない。対象患者の抽出や患者説明などもできていない。この背景には医療機関側の「赤字を出したくない」また医師には「オンライン診療は対面診療より医療の質が落ちる」などの思いが根強くあり、払拭できないことが課題である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	医療機関には対象者の抽出や対象者への説明など主体性をもって、医療MaaS事業に関与してもらうこと。令和6年度は小規模で医療MaaS事業をスタートさせ、令和7年度に向けた予算確保を行い、令和7年度に当初から段階的に稼働できるよう、予算、医師の体制、車両や医療機器の管理、車両同乗職員の確保を行うことで、遠隔地に居住している住民に医療を届けること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①北海道や愛媛県、長野県伊那市での取り組みの紹介 ②医療機関の課題に対して、「医療MaaSは手段であり、きっかけとしては地域の現状。今やろうとしていることは、地域医療の形を変えようとしていること。今やらないことは常識として外れていることを理解してもらいましょう」とアドバイスもらった。 ③看護師不足については、病院看護師でなくてもいいのではないかと。他自治体では集落支援員や地域おこし協力隊で看護師を雇っている所もある。④その他にも車両や医療機器の管理方法、看護師の育成の考え方などアドバイスを受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	現在の山都町の医療MaaS事業の進捗状態を確認された上で、他自治体でも同じような課題を抱えていることを教えていただき、不安が解消された。継続して医療MaaS事業ができるよう、年度末までを目指すのではなく、次年度の展開について検討していく必要性を感じた。また全国の医療MaaS事業の取り組みや地域医療について熟知しておられ、町ではなかなか介入が難しい医療行政に詳しく、上記のアドバイスを受けたことで医療機関への働きかけ方の方向性がわかった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今の段階では成果物はなし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回実施医療機関には同席してもらっていないため、直接的な支援ができていない。医療機関側の医師、看護師、事務職やその他の職員に対し「地域医療の形を変える(メリット)」を次回の12月にアドバイザーから直接アドバイスを願います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの実施なし	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 山都町医療MaaS事業として、令和7年3月末までに小規模でスタートする。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	医療機関の減少に対し、医療機関の受診の機会を身近な場所で定期的に確保できる環境(体制)を整備することで病気や介護の重症化を防ぎ生活の質を維持したまま山都町に住み続けられる住民を維持する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

